

スキー協の集い 2013

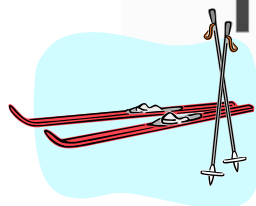
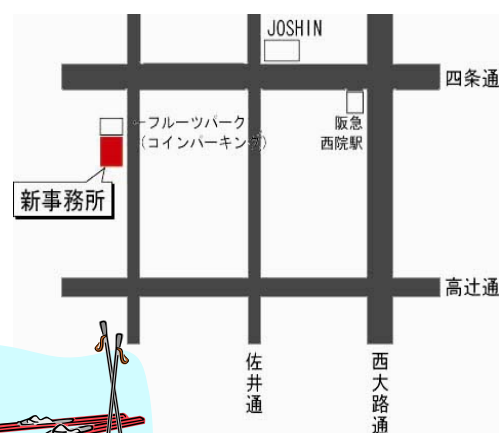
恒例のスキー協の集いを開催します。ふるってご参加ください！！

★日 時： 2013年10月27日（日）
13:00～

★場 所： 新日本スポーツ連盟事務所 (地図→)
京都市右京区西院松井町 7-1
TEL:075-595-9705

★内 容： チュンナップ・ワックスについての講習
とビデオ映写会

※詳しい内容は、後日ご案内します！



スキーフェスティバル2014



今年も バスツアー です！
ネイチャースキー、ポール練習会、スノーボードなど、いろいろ企画します。
詳細が決まりましたら、随時ご案内します。

- 日 時 2014年2月22日、23日
2月21日（金）午後8時頃出発予定
- 場 所 乗鞍高原スキー場
- 宿 泊 青葉荘

スキー協関連行事、今後のスケジュール

フル・リレーマラソン	2013年10月14日	宝ヶ池公園
オフトレハイキング	2013年10月20日	トレイル
オフトレハイキング	2013年11月24日	武奈ヶ岳
関西ブロック初滑り&指導員研修養成	2013年12月13日～15日	志賀高原
第26回関西ブロック競技大会	2014年2月1日～2日	北志賀よませ
スキー協 CUP (スーパーG)	2014年2月15日～16日	北志賀よませ
京都スキーフェスティバル 2013	2013年2月23日～24日	やぶはら高原
第40回全国競技大会	2014年3月1日～2日	戸狩温泉スキー場
関西ブロック研修・レベルアップスキー	2014年4月4日～6日	志賀高原

☆行事報告☆

第44回京都スキー協議会総会

日時：2013年6月30日（日）／新日本スポーツ連盟事務所

参加者：22名／森の会（三上保、三上愛、森田、内藤、矢吹）、シティ（竹口、水島、岡島、望月、中島）、スノーフリーク（寺尾、野口、山内）、バーディカル（藤井、鈴木）、望峰（小山、堀田、五十嵐）、かぶり（中山）、雪おこし（星）、西山スキークラブ（塩谷、長尾）

来賓：関西ブロック議長・兵庫スキー協 和田さん、滋賀スキー協 多賀さん、京都府連盟事務局長 松岡さん



議長に、森の会の三上愛子さんが選出され、総会がすすめられました。

議案書の内容に沿って、各部会から先シーズンの報告および今シーズンの抱負、計画について提案されました。また会計からの報告もありました。各部会の議案および来年度予算については、満場一致により承認されました。その後、参加者および

来賓の方々による意見交換をおこないました。また、雪おこしが春に発足、西山スキークラブが秋に発足予定と明るい話題がありました。

総会終了後、場所を鴨川の床に移して、懇親会をおこない親睦を深めました。

【報告】：シティ 中島



2013 サイクリング in 丹後半島

日時：2013年8月3日（土）・4日（日）／丹後半島

参加者：10名／雪おこし2、森の会3、望峰2、シティ1、スノーフリーク1、かぶりこーん1

今夏のサイクリングは、丹後半島へ行ってきました。「雪おこし」と命名され今期、京丹後に新クラブが誕生しました。そのメンバーの方の実家が経ヶ岬にほど近い中浜という漁村にあり、そこを宿に使わせてもらい、すぐ出たところの漁港で浜風に吹かれ、とれとれのサザエやイカ、近海魚を炭火にかけ、夕日に染まる海をバックにBBQを満喫してきました。

この辺りは、美しい海水浴場、キャンプ場が点在するところで、そのすぐ近くに朝鮮半島に向けられた「Xバンドレーダー」を設置するための米軍基地建設計画が持ち上がり、京都では参院選の争点ともなり騒然とする中、その建設予定地も視察してきました。

ここでも住民の不安な気持ちはそっちのけで、共産党以外の町、市議員は推進派にまわり京丹後市長、京都府知事も賛意を示すなど、民意を無視して新たな軍事基地を京都に誘致させようという策動が進められています。ミサイル抑撃用のレーダーが設置されるということは、攻撃される対象ともなりきわめて危険な所となります。軍備縮小があってこそその平和への道であるとの思いを強くするところです。

初日は、車に自転車を積み込み、峰山から間人経由で宇川温泉まで行き、そこに車を置いて経ヶ岬～間人の海岸沿いをサイクリング。翌日は、伊根から天橋立までサイクリング組とドライブ組とに別れ与謝野クアハウスへ、その手前で雷鳴とドシャ降りにも見舞われながらも丹後半島一周を楽しみました。

【報告】：森の会 森田 英二



京都スキー協のみなさんへ

運営委員長 小山孝夫

今度、運営委員長になりました「小山」です。よろしくお願ひ致します。

私が京都スキー協に入ったのは随分前です。20数年前に初級指導員をとらせてもらい、その後は、競技スキーの方にのめり込んでいきました。そして、昨年、中級指導員をとらせてもらいました。好きなことを随分させてもらいました。

私が運営委員長を引き受けたのは、今まで長い間好きなスキーをさせてもらい、スキーのおかげで随分いろいろな人と出会い、人間の幅もすこしは大きくなって、それなりに成長させてもらったと思っています。今度は、京都スキー協に恩返しをしようと思い、運営委員長を引き受けました。引き受けた以上は一生懸命頑張ってみようと思っています。

京都スキー協は、以前は200名を越える会員が所属する大きな組織でしたが、今は80数名の会員まで減ってしまいました。京都だけではなく全国的に大きく減っています。私は、昨年と今年、全国スキー協の会議に参加してきましたが、いろいろな趣向を凝らして頑張っておられる府県は、

徐々に会員が増えてきています。近くの府県でも増えているところもあります。

スキー協を宣伝しようと思い、今年初めて参加した他団体のスキーツアーで、スキー協のリーフを参加者約20名に配って宣伝しましたが、スキー協を知っている方はだれもおられませんでした。もっと宣伝しないとあかんなと思いました。

今年の春、丹後半島に新しく「スキークラブ雪おこし」が結成されたことは京都スキー協通信でお知らせしました。この10月には、今度、京都の西の方面に「京都西山スキークラブ」が結成されます。京都に新しいクラブが結成されるのは、何十年ぶりかも知れません。しかも二つも・・・！

今の日本経済状況はけっして良くはありません。スキー人口は最盛期から比べると随分減っています。今はあまりいい条件ではないかも知れませんが、スキーをされている方はまだまだ随分おられます。この二つのスキークラブの誕生がその証拠だと思います。

京都スキー協のみなさんにお願ひがあります。

みなさんのお知り合ひで、スキーやスノーボードをされている方はおられませんか？

少し目を凝らして見ていただけないでしょうか？ 案外、今まで見落としていた方があるかも知れません。『スキー協に入りませんか？』と、声を掛けていただけないでしょうか？

会員が増えれば、もっといろいろなことができます。元気がでます。みんなで京都スキー協をもう少し元気にしませんか。私もその先頭になって頑張っていこうと思っています。

どうかよろしくお願ひ致します。

八ヶ岳の赤岳・横岳・硫黄岳の登山

バーディカル 鈴木元

8月9日10日11日、私が代表を務めている地球自然クラブの夏の特別行事として八ヶ岳登山に出かけた。

2011年は餓鬼岳、2012年は薬師岳に出かけた。前者は北アルプスの端にあり、登山口から山頂小屋まで標高差1600mあり、餓鬼岳から隣の燕岳までは鎖と梯子のアップダウンがあるためめったに登られていない。薬師岳は下りが主体となる立山から行く人がほとんどで、追立(1322m)から太朗平を経て薬師岳、立山竜王岳(2872m)へ延々と登って行く人は少ない。いずれもハードコースであるために参加者が限定された。そこで今回は八ヶ岳にした。参加者は10名、男性が3名、女性が7名、完全に「女性の時代」である。近年にキリマンジャロに登ったことがある2人を含めてベテランばかり構成であった。男性は当初4名であったが、1人の方の奥さんが自転車の転倒事故で膝の骨を骨折され、その介護のために参加できなくなった。この歳になると誰に何が起こるか他ならない。

私にとって八ヶ岳はホームグラウンドのようなもので、金曜日に仕事に出かける前に京都駅のロッカーに山の道具を預け、仕事終了後、駅のトイレで服を着替え、JR茅野駅近くのステーションホテルなどに泊まり、土・日に登山し日曜日の夜に帰宅するというやり方で、隅々まで歩いてきた。

今回は八ヶ岳の魅力が凝縮された赤岳鉾から赤岳、横岳、硫黄岳、本澤温泉、ミドリ池、稲子湯へ下山するコースを設定した。私は過去6回ばかりこのコースを歩いている。

9日、新幹線、中央線を乗り継ぎ、茅野駅からバスで美濃戸口。そこから約3時間登って赤岳鉾小屋、ここは温泉に入れてくれる通年小屋。赤岳鉾のテラスに立っていた男がどこかで見たことのある体型だったが、近づくと旧友の〇君だった。有名な山に行くと必ず知り合いに出会う。保育所の保護者会OBグループでやって来たそうである。



10日、行者小屋まで一時間ばかり緩やかな道を歩く。ここから標高差約350mの急坂。前半は樹林の中をジクザクに登って行き、後半は梯子の連続を登って約一時間半で地蔵ノ頭を経て赤岳展望荘に到着。ここに荷物をおいて各自、水筒とカメラとカップだけを持って赤岳山頂(2899m)へ1時間半で往復。快晴だったので北側の横岳、硫黄岳、南側の権現岳だけではなく、はるかかなたに北アルプスがかすかに見えた。

下山し、赤岳展望荘前で昼食。ところがどうした事か私は食欲が進まず、ほとんど食べられなかった。

元の地蔵ノ頭まで戻り、そこから縦走コース最初のピークである日ノ岳へガレバの急坂を梯子や鎖場を登って行く。このころから咳、痰、鼻水そして熱が出始める。風邪だ。実は先のモンゴル行の後半に風邪を引いたが、すっかりしていないままに今回の登山に来た。

モンゴルの後半、ホテルに戻り寝ようとしたとき、まだ暑く、半そでのTシャツで寝ようとしたが暑いので窓を開け放しにして寝た。朝方寒くて目が覚めた。6度ほどだった。その日の夜、ホテルに戻りトイレに入ると下痢だった。最初は「食べたものが悪かったのかなあ」と思ったが、他の人にその症状は無かった。あくる日は下痢はなかったが、咳、痰、鼻水が出た。開け放しによる風邪ひきだった。帰国後もすっかりしていなかった。

約1時間登り三又峰(2825m)に着いた頃にはグロッキー気味であつた。皆さんが見かねて「荷物を分担して持とう」と手分けしてくれた。しかし荷物自体はたいしたことはなく、それよりも熱も出てきたしんどさが問題であった。マラソンであればここで止めればいいが、登山はそうはいかない。どんなことがあっても山小屋まで辿り着かなければならない。幸い抗生物質を持った人がいて、それを4錠もらって1錠飲んだ。

2名の男性は私と一緒にゆっくり歩き本澤温泉まで行かず一時間先にある硫黄岳山荘に泊まることにした。本澤温泉までの時間の関係もあるので女性陣7名に先に行ってもらい。硫黄岳山荘に私達3名の宿泊を伝えてもらうことにした。

そこからの1時間がこのコースのハイライトで、登りだけではなく横断にも鎖場が連続してある危険な場所である。実は10年程前、この場所を暴風の中を歩いたことがあるが、その時は今より若かったし、なによりも体調に問題はなかった。ゆっくり確実に鎖場や梯子を登ったり下ったりしながら一番の難所「奥ノ院」を経て1時間あまりかけて台座の頭(2795m)にたどりついた。あとは緩やかな坂を10分ばかり下り硫黄岳山荘に到着。小屋の前に女性陣が待っていた。結果的には彼女らよりも10分ほど遅れただけだった。ここで全員の集合写真を撮って、男性3名は硫黄岳山荘に泊まることにして、女性陣は予定通り本澤温泉に向かった。



私の反省は今回の山行の担当者であつたために、風邪がすっかり治まっていないにもかかわらず来たこと。そして通常なら、もしもの場合に備えてツェルト(簡易テント)を必ず持参しているが今回は持ってこなかった。両方とも何回も歩いているコースと言う事での油断があつたのであろう。体調が悪いこのような時に夕立にでも遭遇していれば遭難事故となつたかもしれない。

小屋にはシャワー(15分以内500円)があつたのでシャワーを浴びて着替え、横になった。この5年ばかりで日本の山小屋は大幅に改善された。山ガールが増えたこともあつてトイレが水洗となり、シャワーを設置したり、食事が一般食堂並のところが多様となつてきた。夕食も食欲が無く食べられなかったので中ビールを飲み、おかずを半ぐらいだけ食べて寝ることにした。

山小屋の人の話では8月8日を「八ヶ岳の日」と定めているが、都合で1日ずらして今日、9日、宿泊者に記念にケース付の箸をプレゼントするとともに、登山愛好者のテノール歌手を招いての歌声の集いが開催されるとのことであつた。私は体調の事もあり参加せず、もらった抗生物質を飲み、ひたすら寝て体力の回復を試みた。

11日、5時の御来光を見た後、朝食を半分ばかり取り、6時に出発。まだ咳と痰は治まらず鼻水も出ていたが、熱は下がっていた。硫黄岳への緩やかな坂道を登って行った。まだ朝早く気温は15度ぐらいであった。しかし樹林も無く結構強い風が吹いてシャツ一枚では寒く、カップの上を出して着ることにした。ところがI君は、どこに入れたか分からなくなり、リュックの中の物をひっかき回して探し、手間がかかった。

昨年(2012年)の春、白馬の尾根に登っていた人たちが尾根に着いた時、寒風に襲われ遭難死した事故があった。マスコミは当初、軽装備での遭難と、いかにも初心者の人達の遭難であるかの報道を行っていた。しかしその後、医師を含めた経験者のグループで防寒着も持参していたことが判明した。要するに東側から登っているときは快晴の下で、軽装で登っていたのが、尾根に着いた時、西側の谷から吹き上げていた寒風に襲われ、防寒着を出して着る間なく凍死したのである。

大きな山を下から見ていると快晴のもとで山の頂上付近で雪煙が舞っている状態が見えるときである。荷物の一番上にカップとか防寒着を入れておかないと、いざと言うときに間に合わない。「冬だったら死亡事故だな」と言いながら、昨年の事故の話をした。なお風速1mで体感温度はマイナス1度ある。つまり15度の時に風速10メートルの風が吹いていると体感温度は5度なのである。



30分ほど登り硫黄岳(2742m)に到着。ここは火口が爆発によって四分の一ほどだけが残った巨大な爆裂火口で、全体が残っておれば富士山の火口より大きいのではないかと思われる。

そこから稜線を30分程下ったところが赤岩の頭(2656m)。その後、樹林の中を1時間20分余り下ると昨日の赤岳鉱泉。ここで私はアイスクリームを食べた。あとは最初は来た道を一時間ばかり下り、美濃戸山荘。食べられるものは食べて体力を回復する必要があるので、ここでスイカを食べ、牛乳を飲んだ。さらに一時間下り、最初的美濃口に着いた。

こちら側に下山する予定ではなかったのですがバスの出発時間は分からなかった。途中、若者たちが急ぎ足で下って行ったので、ヒョットすると「バスの時間に間に合わせるために急いでいるのではないか」と思ったが、時間的余裕があったので無理をせず通常のペースで歩き標準タイムで到着した。ちょうどバスが出た後で、次は2時間後であった。

たまたまタクシーが一台止まっていたので「予約車」かどうかを訊ねると、単なる客待ちの車であったので、それに乗り上諏訪にある温泉に向かった。温泉で身体を洗い、2階の食堂で昼食を取った。I君はトンカツ入りのランチを注文したが、私はそこまでは食べられずトロロ芋をかけた冷やしざるそばを食べながら中生ビールを飲んだ。

食べ終わる頃、女性陣に「無事に着いた」事を知らせる為に電話をした。すると女性陣でもっとも体力がありマッターホルンにも上ったことがあるMさんが硫黄岳の下りのガレバで足を取られ挫いてしまったそうである。通常なら5時頃までには着く予定が7時までかかって本山温泉に着いたそうである。そして11日はタクシーが入れるところまで2時間あまりかけて歩き、後タクシーでJR小海駅へ向かい帰宅したと言う事である。クラブ創設20年になるが保険を適用する事故に遭遇したのは初めてである。

山の事故はベテランでも、何でもないところでも起こる。しかし事故は山でなくても何処でも起こるので、事故の危険性を心配して行動しなければ何もできない。しかし避けられる事故は避けるように注意深く行動した方が良いことは明白である。

帰宅後のあくる日である12日、Mさんが病院に行ってレントゲン撮ったところ、足首から膝にかけての二本の骨の内、細い方の骨が折れていたとのことである。

以前に記したように、今日12日から19日までの1週間、私は「籠の鳥」で妻・悠紀子の介護をしながら暮らす。その間に次の本の草稿を一気に書き上げることにしていたが、20日からのモンゴル出張に備えて体調管理を整えることを最重点にすることにした。



京都スキー協新体制が決まりました

会長	三上 保孝		
運営委員長	小山 孝夫		
事務局長	中島 剛		
会計	中島 剛		
技術指導員部	部長／森田 英二		
競技部	部長／小山 孝夫		
企画部	部長／野口 裕		
機関誌部	部長／山内 千夏子		
山スキー部	部長／竹口 進		
スキーメイト	荒川 邦博		
府連盟	森田 英二		
全国技術部員	森田 英二	全国競技部員	小山 孝夫
全国山スキー部員	竹口 進	全国スノーボード部員	未定
全国理事	三上 保孝		
関西B役員	三上 保孝、森田 英二、小山 孝夫		



各部の部員は追って掲載させていただきます。

第1回運営委員会報告

日時：2013年8月20日（火） 於：新日本スポーツ連盟事務所

- 第44回京都スキー協議会 定期総会について
- 今年度の各クラブの人数について
- スキーメイトの増減について
- 新体制について
- 京都スキー協のつどいについて
- 京都スキー協フェスティバルについて
- スキー協のつどい in 大阪について

次回の運営委員会：9月19日（木）

●スキー協会費納入のお願い

今年度の会費の納入につきまして、各クラブへお願い申し上げます。

<振込先> 口座番号 郵便振替 14420-8324331
 口座名 新日本スポーツ連盟京都スキー協議会
 <会 費> 1人 3600円

